

会計名			公園再整備事業				担当部	都市政策部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					担当係	工務係		
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	公園の整備・改善							
	目的	現状特性を生かしつつ、花が咲く特色ある公園整備を行うことにより、市民生活に潤いと安らぎを与える。平成20年度に策定した洲原公園他再整備基本構想に合わせて事業の推進を図る。				主たる内容	洲原公園、日高公園、原崎公園、野田公園、青山公園及び狩野公園を再整備する。			
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画							
		根拠法令	都市公園法							
	対象者	市民			事業期間	平成20年度～令和10年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・洲原公園の再整備工事 ・日高公園の実施設計		・洲原公園の再整備工事		・洲原公園の再整備工事		・日高公園の再整備工事		
成果		・洲原公園において、遊具、園路、休憩施設の改修などを行い、どの世代でも利用しやすい公園として再整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			71.4	—	66.0	73.0	80.0	
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		89,182	47,238	49,244	74,523	合計	49,244,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	23,000円		
		一般財源	89,182	47,238	49,244	74,523	工事請負費	49,221,000円		
	職員人件費②		2,345	2,714	1,929	2,709				
	総事業費（①+②）		91,527	49,952	51,173	77,232				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			公園再整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	工務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	植栽状況の悪化が公園の景観や安全上の悪化、利用者の減少につながるため、利用者の安全確保や快適性の向上を図るため、植栽環境の改善、老朽化施設の改修、バリアフリーの基準に沿った整備などを推進する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	段階的かつ計画的に再整備を進め、財政負担の平準化を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	植栽を主体とした再整備であること及び地域住民の生活環境にある近隣公園の再整備であることから、公共が主体となって実施すべき事業である。また、第7次総合計画に「誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮した公園整備の推進」が位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	再整備により公園の魅力が向上し、成果指標の向上につながるとともに、公園の充実が市の魅力、住みよいまちの重要な要素となり、定住促進や観光客の増加に寄与する。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き公園の再整備を推進する。					

会計名		岩ヶ池公園整備事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	工務係	
8	4					5			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	伊勢湾岸自動車道の刈谷パーキング施設と一体となった新たなアミューズメント空間の創出を行い、合わせて岩ヶ池や周辺の森林を活かした「自然とふれあい、遊び、学ぶ」場を創出する。		主たる内容	○第1、第2、第3駐車場の改修 ○第二期整備区域の整備（駐車場、広場） ○第三期整備区域の拡張整備（歩道橋、駐車場）				
	位置づけ	関連計画 第2次緑の基本計画 刈谷レストラン基本構想 第2次観光推進基本計画 根拠法令 都市公園法							
	対象者	市民		事業期間	平成5年度 ~ 令和10年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・授乳室の整備		—		・都市計画の変更、都市計画事業の認可 ・社会資本総合整備計画の変更資料作成 ・第1、第2、第3駐車場改修基本設計 ・歩道橋修正設計		・第二期整備区域の駐車場基本設計 ・第三期整備区域の拡張整備（用地取得、物件移転補償）	
		成果	・スマートICの設置に伴い必要な都市計画等の手続きを行うとともに駐車場の再整備等に向けた設計を行うことで、今後のスマートICの整備効果を生かした整備に向け準備を進めることができた。						
課題		・スマートICの整備により不足する機能を補うため用地を拡張し施設整備をしていく必要がある。 ・公園利用者に対する工事の影響を最小限に抑えるよう、スマートICの整備と調整する必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）	71.4	—	66.0	73.0	80.0			
成果指標	東海3県主要集客施設集客順位（位） （三菱UFJリサーチ&コンサルティング調べ）	2	2	2	2	2			
他市との比較検証	・各務原市に国営木曾三川公園（国施設）がある（東海3県主要集客施設集客順位4位）。 ・豊田市に鞍ヶ池公園がある（—）。 ・亀山市に亀山サンシャインパーク（県施設）がある（—）。								
C 事業コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①	75,038	0	22,140	0	合計	22,140,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	22,140,000 円	
		一般財源	75,038	0	22,140	0			
	職員人件費 ②	5,080	0	1,929	3,483				
	総事業費（①+②）	80,118	0	24,069	3,483				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			岩ヶ池公園整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	工務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	岩ヶ池周辺において公園整備を行うことにより、年々減少している緑の保全を図るとともに、本公園は刈谷市を代表する施設となっており、本市のレクリエーションや交流の場、観光の拠点として、魅力的な空間づくりを目指していく必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	社会資本整備総合交付金の活用により事業費を確保するとともに、既存樹木の活用や地形の改変抑制など、現況特性を活かした整備により、コストの縮減を図っていく。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	第7次総合計画の観光施策では、市の観光の核となる施設に位置づけられているとともに、第2次刈谷市緑の基本計画に拠点となる緑の充実のため、周辺の自然環境やパーキングエリアの機能を生かし、レクリエーション拠点としての機能の拡充が位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷ハイウェイオアシスとして、年間90万人を超える利用者がおり、本市の観光や産業をPRする場となっているほか、イベント開催等により、市民の交流・活動の場を提供しており、目標達成における中心的な公園となっている。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
・都市決定面積約41.7haの内、開設面積約10.9haであり、今後も整備を推進していく必要がある。					

会計名			都市公園施設更新事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					担当係	管理係	
8	4	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	公園施設長寿命化計画に基づき、要改修と判断された公園施設の更新を行うとともに、予防保全的管理による延命化を行うことで、施設の安全性確保と機能保全を図り、合わせて維持管理費用の縮減や平準化を図る。			主たる内容	○計画に基づく公園施設の更新、予防保全の実施 ○平成元年以降に開設した都市公園を加えた、新たな長寿命化計画の策定			
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画 刈谷市公共施設等総合管理計画						
			根拠法令	都市公園法					
		対象者	市民	事業期間	平成22年度～令和11年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・施設更新 15公園 ・施設修繕 23公園		・施設更新 12公園 ・施設修繕 18公園		・施設更新 12公園 ・施設修繕 8公園 ・長寿命化計画策定 27公園		・施設更新 12公園 ・施設修繕 16公園	
成果		・老朽化した施設の更新や延命化を図る修繕を行い、安全性確保と機能保全を図ることができた。							
課題		・長寿命化対策を計画的に実施するためには、施設ごとに更新や修繕の履歴情報を一元的に管理し、蓄積していくことが必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		71.4	—	66.0	73.0	80.0	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		43,923	36,338	50,989	36,000	合計	50,988,960円	
	財源	特定財源	15,000	31,000	26,500	25,000	需用費	3,148,200円	
		一般財源	28,923	5,338	24,489	11,000	委託料	14,934,240円	
	職員人件費②		4,455	4,032	4,629	4,257	工事請負費	32,906,520円	
	総事業費（①+②）		48,378	40,370	55,618	40,257			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金 公共施設維持保全基金繰入金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			都市公園施設更新事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	管理係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	公園利用者の安心、安全に資する必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	社会資本整備総合交付金の活用により、事業費を確保しつつ、施設の計画的な維持管理や延命化対策により、維持管理費用の軽減や平準化を図っていく。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	施設管理者である市が主体的となって実施すべき事業である。また、総合計画、第2次刈谷市緑の基本計画に位置づけられた取り組みである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	安心、安全に配慮した公園整備に貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
引き続き長寿命化計画に基づく更新、予防保全管理を行う。					

会計名 一般会計			亀城公園周辺整備事業				担当部	都市政策部	
款	項	目					担当課	公園緑地課	
8	4	5					担当係	工務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	駐車場不足の改善及び亀城公園周辺道路の整備により、公園利用者の利便性の向上を図る。		主たる内容	○臨時駐車場の整備 ○亀城公園周辺道路の整備				
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
			根拠法令						
		対象者	市民	事業期間	平成26年度～令和3年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・臨時駐車場の整備 ・用地取得 5,515.9㎡		・臨時駐車場拡張の実施設計 ・用地取得 4,205㎡		・臨時駐車場の整備 ・亀城公園周辺の道路整備		_____	
成果		・臨時駐車場を整備し課題であった駐車場不足に対応するとともに歴史博物館の整備にあわせた周辺道路の整備を実施したことにより公園利用者の利便性と安全性の向上を図ることができた。							
課題		・亀城公園周辺の道路整備は逢妻川の運動広場整備あわせ実施していく必要がある。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標			71.4	—	66.0	73.0	80.0		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		154,514	104,125	84,883	0	合計	84,882,600円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	84,882,600円	
		一般財源	154,514	104,125	84,883	0			
	職員人件費②		4,298	3,877	3,086	0			
	総事業費（①+②）		158,812	108,002	87,969	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			<p style="text-align: center;">亀城公園周辺整備事業</p>	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	工務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	亀城公園で開催されるスポーツ大会や桜まつりなどのイベント時に駐車場が不足しており、公園利用者の利便性の確保と周辺の道路環境の渋滞対策のために必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	過度な整備にならない設計を行い、他工事での発生残土を活用するなど造成コストの縮減を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	亀城公園利用者の駐車場であるため、市が主体となって実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	亀城公園はスポーツ振興施策における拠点のひとつであるとともに、（仮称）歴史博物館の整備を見据え、今後の公園利用者の増加が見込まれることから、駐車場不足の改善を行う本事業は多様な施策に対して貢献度が高い事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
事業の推進を図るため、関係機関との調整を進める。					

会計名			亀城公園再整備計画推進事業				担当部	都市政策部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					担当係	業務係		
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	公園の整備・改善							
	目的	亀城公園再整備事業における刈谷城復元について、事業趣旨の浸透や市民参加型の事業の推進を図る。			主たる内容	○事業啓発用物品の作成 ○刈谷市ふるさと寄附金制度による亀城公園等整備基金への寄附啓発				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者	市民、市内事業者	事業期間	平成28年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・ふるさと納税事務 ・寄附啓発活動		・ふるさと納税事務 ・寄附啓発活動		・ふるさと納税事務 ・寄附啓発活動		・ふるさと納税事務 ・寄附啓発活動		
成果		・ふるさと納税制度を活用した亀城公園等整備基金への寄附啓発に努めた。 ・昨年度以上の寄附件数があった。								
課題		・制度の厳格化により返礼品が減り、寄附額が減少している。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標	寄附件数（件）		74	52	87	100	100			
活動指標	寄附金額（円）		8,000,000	3,735,000	1,702,002	2,000,000	2,000,000			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		3,497	2,418	1,709	5,266	合計 1,709,286円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 17,630円 委託料 1,647,106円 使用料及び賃借料 44,550円			
		一般財源	3,497	2,418	1,709	5,266				
	職員人件費②		3,908	3,877	3,086	2,322				
	総事業費（①+②）		7,405	6,295	4,795	7,588				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			<p style="text-align: center;">亀城公園再整備計画推進事業</p>	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	業務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	全国の多くの自治体が行っているふるさと納税制度を活用することで、刈谷市を他の幅広い自治体に知ってもらうことができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	市の一般財源に依存せず、ふるさと納税制度を活用して刈谷の歴史、城に興味を持ち、賛同してもらえる方々から寄附を募っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	ふるさと納税制度の活用は、市が主体となり事業者の協力を得て行うものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷市と事業者が協力し合うことで、刈谷市の新たな名産、特産品の創出を担っている。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
新たな事業者の協力を得て返礼品を増やし寄附を募る。					

会計名		伊勢山公園整備事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	工務係	
8	4					5			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業に伴い公園を整備し、子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場、地域住民の憩い・交流の場を創出する。	主たる内容	公園の新規整備 場所 小垣江町下伊勢山 整備面積 0.31ha					
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
		根拠法令	都市公園法						
	対象者	市民		事業期間	平成29年度～平成31年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		・実施設計（ワークショップにて実施）		・都市計画決定の手続き ・都市計画事業認可の申請		・整備工事	
成果		・整備工事に向けて、都市計画関係の手続きを実施することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			71.4	—	66.0	73.0	80
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		0	5,162	670	60,255	合計	669,600円	
	財源	特定財源	0	0	0	3,000	委託料	669,600円	
		一般財源	0	5,162	670	57,255			
	職員人件費②		0	2,714	2,315	2,709			
	総事業費（①+②）		0	7,876	2,985	62,964			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			伊勢山公園整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	工務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地域住民の憩いや交流などの場となる身近な公園が不足しているため公園を整備することにより、住みよいまちの重要な要素となり、定住促進に寄与するため整備を推進する必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	市民参加型の整備を行うことで、地域住民がより積極的に利用したり活用することにつながり、地域の交流拠点となるとともに、住民が公園管理に係わっていただけることにつながり、効率的な維持管理に寄与する。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	第7次総合計画に「誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮した公園整備」及び「地域住民の意見を反映した市民参加型の公園整備」が位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	身近な公園を整備し、市民の憩いや交流の場を創出することにより、成果指標の向上につながるとともに、市の公園の充実が市の魅力、住みよいまちの重要な要素となり、定住促進に寄与する。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	平成31年度に事業を完了する予定である。				

会計名 一般会計			茶屋川公園整備事業				担当部	都市政策部		
款	項	目					担当課	公園緑地課		
8	4	5					担当係	工務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	公園の整備・改善							
	目的	公園が不足する地域に、子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場、地域住民の憩い・交流の場を創出する。	主たる内容	公園の新規整備 場所 井ヶ谷町後口田 用地取得 2,381.02㎡ 整備面積 0.25ha						
	位置づけ	関連計画		第2次緑の基本計画						
			根拠法令	都市公園法						
		対象者	市民	事業期間	平成29年度～平成30年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		_____		<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定の手続き 都市計画事業認可の申請 		<ul style="list-style-type: none"> 用地取得及び整備工事 		_____		
成果		・整備工事を完了し、公園が不足する地域に、子どもの遊び場、高齢者の健康増進の場、地域住民の憩いの場を提供することができた。								
課題										
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）		71.4	—	66.0	73.0	80.0			
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		0	0	117,697	0	合計	117,696,547円		
	財源	特定財源	0	0	3,000	0	需用費	40,000円		
		一般財源	0	0	114,697	0	役務費	23,000円		
	職員人件費②		0	0	3,858	0	委託料	659,631円		
	総事業費（①+②）		0	0	121,555	0	工事請負費	54,907,200円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		公有財産購入費	61,891,756円	
30年度までの累積事業費		0		あいち森と緑づくり都市緑化推進事業費補助金		負担金、補助及び交付金	174,960円			
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			茶屋川公園整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	工務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	地域住民の憩いや交流などの場となる身近な公園が不足しているため、公園を整備することにより住みよいまちの重要な要素となり、定住促進に寄与するため整備を推進する必要があります。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	市民参加型の整備を行うことで、地域住民がより積極的に利用したり活用することにつながり、地域の交流拠点となるとともに、住民が公園管理に係わっていただけることにつながり、効率的な維持管理に寄与する。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	第7次総合計画に「誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインに配慮した公園整備」及び「地域住民の意見を反映した市民参加型の公園整備」が位置付けられている。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	身近な公園を整備し、市民の憩いや交流の場を創出することにより、成果指標の向上につながるとともに、市の公園の充実が市の魅力、住みよいまちの重要な要素となり、定住促進に寄与する。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	平成30年度に事業が完了した。				

会計名 一般会計			緑の街並み推進事業				担当部	都市政策部	
款	項	目					担当課	公園緑地課	
8	4	6					担当係	業務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	緑化の推進						
	目的	緑は人々に潤いと安らぎを与えてくれるとともに、環境の改善に資するなど重要な役割を果たすため、民有地の緑化事業及び街路樹の再生に関する事業を行い、市民の緑化意識及び市内の緑化向上を図る。			主たる内容	愛知県が行う「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」を活用し、民有地で行う比較的規模の大きな生垣設置及び屋上、壁面、空地緑化（生垣50m以上、屋上、壁面、空地100㎡以上）に対して補助を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
		根拠法令	あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金交付要綱他						
		対象者	市民、事業者		事業期間	平成21年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・民有地の大規模緑化 3件		・民有地の大規模緑化 1件		・民有地の大規模緑化 0件		・民有地の大規模緑化 2件	
成果		・民有地の緑化については、大型緑化事業の相談が複数あり、一定の周知が図られている。							
課題		・本事業の民有地緑化への補助対象が、比較的規模の大きなものであることから、実施件数が少ない。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合（％）			64.5	—	61.8	65.9	70.0
成果指標		自宅の敷地などの緑化に努めている市民の割合（％）			57.6	—	54.9	67.5	80.0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		8,044	649	0	10,000	合計 0円		
	財源	特定財源	8,044	649	0	10,000			
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		1,954	1,939	1,350	1,355			
	総事業費（①+②）		9,998	2,588	1,350	11,355			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			緑の街並み推進事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	業務係
8	4	6			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		普通	緑化推進都市の宣言を掲げる本市が、緑創出の一環として取り組んでいる大規模な緑化事業への補助や街路樹の再生は、市街地緑化の一層の推進を図るためにも必要性がある事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	県支出金などで助成金を積極的かつ有効に利用することにより、市の予算で行うのと同等の成果を上げることができる。また、街路樹再生において、生育が比較的遅く、害虫に強い樹種を選定することにより、剪定や薬剤散布に要する年間維持管理料の軽減が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	民間が行う規模が比較的大きい緑化事業や、市が管理地である街路樹の再生事業には、高額な費用を要するため、その費用を補助・予算化したり、統一性のある樹種選定を行うためにも、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	民有地の緑化事業に対する補助や街路樹の再生は、市民生活や通行者の視覚に潤いや癒しを与えたり、市民の緑化意識の高揚に働きかけるもので、新たな緑地の創出に貢献するものである。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
開発等による市街地の多くの部分を占める民有地の緑が減少しているなかで、新たな緑化余地の少ない既存市街地では、建築物の屋上や壁面等の緑化や良好な景観を形成する街路樹の再生が有効であると考えられる。県の事業計画では、平成31年度から活用件数をより増やすため要件を緩和する流れにあるため、それに伴い刈谷市でも要綱を改正し、活用件数の増加を図る。					

会計名			亀城公園再整備事業				担当部	都市政策部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					担当係	工務係		
8	4	5								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	刈谷城址の整備							
	目的	老朽化の激しい園内施設の更新、既存桜の 土壌改良、樹木の伐採、歴史的建造物の整備 等を行い、本市の歴史や文化にふれることが できる開放的で心地の良い空間の創出を図る。	主たる内容	○老朽化施設の更新 ○既存桜の土壌改良 ○歴史的建造物等の整備						
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画 第2次観光推進基本計画 刈谷市立地適正化計画							
		根拠法令	都市公園法							
		対象者	市民	事業期間	平成20年度 ~ 令和7年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		・刈谷城シンポジウムの実施		・熊本城動向調査 ・事業計画の変更認可 ・事業の啓発		・熊本城等事例調査 ・整備に向けた課題の整理 ・事業の啓発		・熊本城等事例調査 ・実施設計に向けた調査検討 ・事業の啓発 ・子亀池の浚渫（しゅんせつ）		
成果		・関係法令等の対応とあわせて構造物の安全対策を踏まえた実現手法に対する課題を整理することができた。 ・歴史博物館のオープニングイベント、わんさか祭りにて事業の啓発を行い、刈谷城の歴史的価値や復元の意義について 広めることができた。								
課題		・熊本城復旧の取組みなどを参考に刈谷城復元の早期実現に向けて、実施設計を見据えた過程の中で、実現手法に対する 課題の解決を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
成果 指標		桜まつりの来園者数（人）		66,850	71,810	58,450	72,000	72,000		
成果 指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（%）		71.4	—	66.0	73.0	80.0		
他市との 比較検証		・西尾市では、西尾市歴史公園内に隅櫓、鎗石門、天守台石垣、丑寅櫓石垣が復元整備された。 ・岡崎市では、岡崎公園内に東隅櫓を休憩施設として復元整備された。								
C 事業コスト		単位：千円		28年度 （決算）	29年度 （決算）	30年度 （決算）	31年度 （予算）	30年度 事業費内訳		
	事業費 ①		2,327	13,019	5,992	51,399	合計	5,991,640 円		
	財 源	特定財源	0	0	0	0	旅費	483,640 円		
		一般財源	2,327	13,019	5,992	51,399	委託料	5,508,000 円		
	職員人件費 ②		5,861	4,265	2,700	3,483				
	総事業費（①+②）		8,188	17,284	8,692	54,882				
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
		30年度までの累積事業費		0						
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			<p style="text-align: center;">亀城公園再整備事業</p>	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	公園緑地課
款	項	目		担当係	工務係
8	4	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	市の歴史と文化を次世代に継承し、刈谷の魅力や個性を高め、ふるさと刈谷への愛着と誇りを培うことが、定住促進や持続可能なまちづくりに寄与するため、刈谷城の復元整備を行うとともに、施設の老朽化の対策を進める必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	学識経験者を含めた専門委員会を組織して、歴史的建造物等の整備に対して、史実に忠実な復元を目指し、適正な整備を図っていく。また寄附の啓発を積極的に行う。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	第7次総合計画にて、「亀城公園の整備とあわせ、隅櫓や城門、石垣などの復元の推進」が位置づけられている。第2次緑の基本計画の拠点となる緑の充実において、歴史的な景観を重視した城址公園としての再整備を推進するとともに、機能の拡充を図っていくと明記されている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷城の復元は、総合計画の施策に直接貢献するとともに、市のまちづくりや未来の刈谷市を担う人材の育成につながる事業である。園内の一部において再整備を行った結果、桜まつりの来園者数が増加している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
熊本地震により影響を受けた熊本城の復旧基本計画などを参考に実施設計を行っていく。					

会計名			児童遊園管理事業				担当部	都市政策部		
一般会計							担当課	公園緑地課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	2	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境			主たる内容	児童遊園内の施設点検、樹木剪定、清掃、 便槽保守管理業務を行う。			
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	公園の整備・改善							
	目的	児童遊園内の施設の維持管理作業を行い、 利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。				実施方法 ■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	児童福祉法、刈谷市児童遊園条例							
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画			
	市内の児童遊園等を2区域に分けて、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施した。		市内の児童遊園等を2区域に分けて、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施した。		市内の児童遊園等を2区域に分けて、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施した。		市内の児童遊園等を2区域に分けて、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施予定。			
	成果	<ul style="list-style-type: none"> 児童遊園等の維持管理を年間委託で行い、良好な状態を維持した。 異常箇所の早期発見、早期対応を行った。 								
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 園内の除草、清掃回数が増加傾向にある。 								
	指標名称（単位）					実績値		目標値		
						28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）				71.4	—	66.0	73.0	80.0
	指標									
	他市との比較検証									
	C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
事業費 ①		38,857	38,909	40,969	42,889	合計	40,968,961 円			
財源		特定財源	0	0	0	10	報償費	1,407,000 円		
		一般財源	38,857	38,909	40,969	42,879	需用費	1,806,640 円		
職員人件費 ②		1,876	1,861	1,697	2,090	役務費	663,800 円			
総事業費（①+②）		40,733	40,770	42,666	44,979	委託料	24,099,660 円			
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称		使用料及び賃借料 12,991,861 円		
	30年度までの累積事業費		0							
	2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			児童遊園補修事業				担当部	都市政策部		
款	項	目					担当課	公園緑地課		
3	2	1					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	公園の整備・改善							
	目的	児童遊園の利用者の安全性を確保し、快適性の向上を図る。			主たる内容	児童遊園内の施設全般（遊具、フェンスなど）の補修を行う。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	児童福祉法、刈谷市児童遊園条例						
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修 ・上池児童遊園遊具修繕 ・一里山児童遊園遊具修繕他		老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修 ・西縄児童遊園他遊具修繕 ・元町遊園遊具塗装修繕他		老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修 ・寺西遊園遊具修繕 ・西境児童遊園防球ネット修繕他		老朽化や破損した児童遊園施設の修繕及び補修		
成果		・児童遊園施設の修繕を実施し、利用者の安全性、快適性が向上した。								
課題		・施設の老朽化に伴い、修繕費が増加傾向にある。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標					71.4	—	66.0	73.0	80.0	
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		3,757	4,052	4,046	5,600	合計	4,045,680 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,626,480 円		
		一般財源	3,757	4,052	4,046	5,600	工事請負費	2,419,200 円		
	職員人件費 ②		1,719	1,706	1,543	1,935				
	総事業費（①+②）		5,476	5,758	5,589	7,535				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			公園管理事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					担当係	管理係	
8	4	5						業務係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	公園施設の維持管理を行い、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。		主たる内容	公園内の施設点検、樹木剪定、清掃、便槽保守管理業務を行う。				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	都市公園法、刈谷市都市公園条例					
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		市内の公園等を13区域に分け、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施した。		市内の公園等を11区域に分け、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施した。		市内の公園等を11区域に分け、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施した。		市内の公園等を11区域に分け、園内清掃、樹木の剪定、除草、便所清掃、巡視点検を年間管理委託にて実施予定。	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 公園等の維持管理を年間委託で行い、良好な状態を維持した。 異常箇所の早期発見、早期対応を行った。 ミササガパークのシバザクラを多くの来場者にPRすることができた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 除草及び清掃回数が増加傾向にある。 							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			71.4	—	66.0	73.0	80.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費①		368,144	347,599	371,106	380,058	合計	371,105,877 円	
	財源	特定財源	12,828	10,887	9,423	6,510	報償費	6,543,500 円	
		一般財源	355,316	336,712	361,683	373,548	需用費	25,911,523 円	
	職員人件費②		4,455	4,420	4,629	5,031	役務費	8,086,005 円	
	総事業費（①+②）		372,599	352,019	375,735	385,089	委託料	305,596,180 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		公園使用料					
2年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料					
				土地建物貸付収入					
				光熱水費実費徴収金					

会計名		公園補修事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	管理係	
8	4	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	老朽化や破損した施設の維持補修により、公園利用者の安全性及び快適性の維持向上を図る。		主たる内容	公園内の施設全般（遊具、フェンスなど）の補修、修繕を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	都市公園法、刈谷市都市公園条例						
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修 ・ 神田公園テニスコート修繕 ・ 狩野公園遊戯施設修繕 ・ 洲原公園園路改修工事他		老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修 ・ 刈谷市総合運動公園屋外スピーカー取替修繕 ・ 塩田公園テニスコート練習板修繕他		老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修 ・ 小垣江公園複合遊具修繕 ・ 猿渡公園複合遊具修繕他		老朽化や破損した公園施設の修繕及び補修 ・ じない公園他キャラクタートイレ塗装修繕 ・ 総合運動公園園路舗装修繕	
成果		・ 公園施設の修繕等を実施し、利用者の安全性を確保した。							
課題		・ 施設の老朽化に伴い、修繕費が増加傾向にある。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			71.4	—	66.0	73.0	80.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費 ①		34,206	24,462	21,937	25,800	合計	21,936,528 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,948,528 円	
		一般財源	34,206	24,462	21,937	25,800	工事請負費	11,988,000 円	
	職員人件費 ②		3,282	3,257	3,086	3,096			
	総事業費（①+②）		37,488	27,719	25,023	28,896			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		洲原公園レクリエーション施設管理運営事業				担当部	都市政策部		
款	項	目					担当課	公園緑地課	
8	4	5					担当係	業務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	民間活力を導入し、指定管理者として洲原公園レクリエーション施設の管理運営を一体的に行わせることにより、経費の節減と利用者へのサービスの向上を図る。			主たる内容	指定管理者制度を導入し、洲原公園レクリエーション施設の管理運営全般を行う。 温水プール、ロッジ、テニスコート・クラブハウス、デイキャンプ施設を民間公募で選定した業者により管理運営を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令						地方自治法	
		対象者		市民		事業期間	平成17年度～		
		実施方法							■直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		プール利用者 64,177人 ロッジ利用者 3,847人 テニスコート利用者 18,841人		プール利用者 60,753人 ロッジ利用者 3,568人 テニスコート利用者 16,058人		プール利用者 70,990人 ロッジ利用者 3,741人 テニスコート利用者 19,413人		プール利用者 75,000人 ロッジ利用者 3,500人 テニスコート利用者 20,000人	
成果		・指定管理者による良好な施設管理により、安定した来場者数を維持している。							
課題		・施設がオープンして20年以上経過しており、老朽化が著しいテニスコートなどの改修が必要になってきている。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		プール利用者（人）			64,177	60,753	70,990	75,000	75,000
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		74,714	73,053	74,751	74,228	合計	74,750,623 円	
	財源	特定財源	18,789	18,089	20,290	18,704	需用費	3,440,880 円	
		一般財源	55,925	54,964	54,461	55,524	役務費	28,743 円	
	職員人件費 ②		3,517	3,102	3,279	3,290	委託料	71,281,000 円	
	総事業費（①+②）		78,231	76,155	78,030	77,518			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		公園使用料 行政財産目的外使用料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		岩ヶ池公園管理運営事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	業務係	
8	4					5		工務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	民間活力を導入し指定管理者として岩ヶ池公園の管理運営を一体的に行わせることにより、経費の節減と利用者サービスの向上を図る。		主たる内容	指定管理者制度を導入し、岩ヶ池公園の管理運営全般を行う。 岩ヶ池公園を民間公募で選定した業者により管理運営を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令		地方自治法					
		対象者	市民		事業期間	平成16年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O 計画 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		刈谷ハイウェイオアシス来場者数 905.4万人		刈谷ハイウェイオアシス来場者数 884.1万人		刈谷ハイウェイオアシス来場者数 848.4万人		刈谷ハイウェイオアシス来場者数 900万人	
成果		・民間ノウハウの活用により、多くの来場者数を記録している。							
課題		・大型遊具等に補修箇所が増え始め、その安全な管理のために対応が必要である。 ・猛暑など天候により来場者数が大きく左右される。							
O 計画 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	成果指標	東海3県主要集客施設集客順位（位）			2	2	2	2	2
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		73,902	79,137	76,471	93,030	合計	76,471,205 円	
	財源	特定財源	18,164	20,396	21,964	21,946	需用費	5,550,120 円	
		一般財源	55,738	58,741	54,507	71,084	役務費	78,409 円	
	職員人件費②		4,298	3,877	4,051	4,064	委託料	70,842,676 円	
	総事業費（①+②）		78,200	83,014	80,522	97,094			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		公園使用料 行政財産目的外使用料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		フローラルガーデンよさみ管理運営事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	業務係	
8	4					5			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	民間活力を導入し、指定管理者としてフローラルガーデンよさみの管理運営を一体的に行わせることにより、経費の節減と利用者へのサービスの向上を図る。	主たる内容	指定管理制度を導入し、フローラルガーデンよさみの管理運営全般を行う。 フローラルガーデンよさみを民間公募で選定した業者により管理運営を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	地方自治法						
		対象者	市民	事業期間	平成19年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		フローラルガーデンよさみ来場者数 183,196人 (プラザ、記念館の利用者数)		フローラルガーデンよさみ来場者数 181,019人 (プラザ、記念館の利用者数)		フローラルガーデンよさみ来場者数 177,635人 (プラザ、記念館の利用者数)		フローラルガーデンよさみ来場者数 200,000人 (プラザ、記念館の利用者数)	
成果		・指定管理者により、多くの来園者が楽しめる各種イベント（ガーデンマルシェ、文化教室等）を開催した。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
成果指標	来場者数（人）		183,196	181,019	200,000	177,635	210,000		
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		42,356	46,577	46,235	46,767	合計	46,234,706 円	
	財源	特定財源	1,709	1,642	1,662	1,650	需用費	1,209,600 円	
		一般財源	40,647	44,935	44,573	45,117	役務費	20,826 円	
	職員人件費②		3,517	3,102	3,665	3,677	委託料	45,004,280 円	
	総事業費（①+②）		45,873	49,679	49,900	50,444			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		公園使用料 行政財産目的外使用料					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			公園施設設置事業				担当部	都市政策部	
款	項	目					担当課	公園緑地課	
8	4	5					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	市民に親しまれ、憩いの場となる公園とするため、公園内の施設の充実を図る。		主たる内容	公園内の老朽化した施設の改修をするともに、新規施設を設置する。				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令	都市公園法						
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 山根池広場トイレ設置 中山公園広場改修 森前公園排水施設設置 朝暮公園バスケットゴール設置他 今岡公園、金山広場四阿設置 刈谷道広場常夜燈設置 大手公園休憩施設設置 		<ul style="list-style-type: none"> 森前公園広場整備 中手公園防球ネット設置 丸山公園防球ネット設置 田地池広場防球ネット設置他 		<ul style="list-style-type: none"> いずみ公園防球ネット設置 富士塚公園四阿設置 金山広場下水道接続 		<ul style="list-style-type: none"> 幸公園広場改修 一色公園広場改修 時ヶ堀公園防球ネット設置 西中根公園防球ネット設置他 	
成果		公園施設の新設及び改修により、公園利用者の安全性、利便性が向上した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）			71.4	—	66.0	73.0	80.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		70,794	14,086	7,361	29,800	合計	7,360,520 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	23,000 円	
		一般財源	70,794	14,086	7,361	29,800	工事請負費	7,337,520 円	
	職員人件費 ②		4,845	2,869	1,929	1,935			
	総事業費（①+②）		75,639	16,955	9,290	31,735			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			亀城公園等整備基金積立事業				担当部	都市政策部			
款	項	目					担当課	公園緑地課			
8	4	5					担当係	業務係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					主たる内容	亀城公園等整備基金に寄附金等を編入する。		
		基本施策	公園緑地・緑化								
		施策の内容	公園の整備・改善								
	目的	歴史博物館の建設及びその周辺施設を整備するために基金を積み立て、自然に親しみながら刈谷市の歴史に触れることができる魅力ある場所を創出する。					実施方法 ■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他				
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令	刈谷市亀城公園等整備基金条例								
		対象者	市民		事業期間	平成21年度～					
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
			28年度実績		29年度実績			30年度実績		31年度計画	
			・寄附金 5,653,142円 ・運用収入 8,115,448円		・寄附金 10,426,333円 ・運用収入 3,631,863円			・寄附金 2,948,173円 ・運用収入 2,354,850円		寄附金と運用収入を基金に組み入れる。	
B 事業実績 D 実績 O 実施 V	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附金等を亀城公園等整備基金に繰り入れた。 ・平成30年3月末積立額 2,162,744,197円 									
	課題										
		指標名称（単位）			実績値			目標値			
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
		指標									
	指標										
	他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳				
	事業費 ①		13,769	14,058	5,303	2,015	合計		5,303,023 円		
	財源	特定財源	13,769	9,848	5,068	2,015	積立金		5,303,023 円		
		一般財源	0	4,210	235	0					
	職員人件費 ②		1,563	4,653	1,350	1,355					
	総事業費（①+②）		15,332	18,711	6,653	3,370					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称					
30年度までの累積事業費		0		亀城公園等整備基金積立金 子 公園事業費寄附金							
2年度以降の事業費見込		0									

会計名		岩ヶ池公園改修事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	工務係	
8	4					5			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	伊勢湾岸自動車道の刈谷パーキング施設と一体となった新たなアミューズメント空間の創出を行い、合わせて岩ヶ池や周辺の森林を活かした「自然とふれあい、遊び、学ぶ」場を創出する。			主たる内容	○岩ヶ池公園の施設等の改修			
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画 第2次観光推進基本計画						
		根拠法令	都市公園法						
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 園路改修 ガードパイプ、手摺の設置 第1駐車場区画線の改修 		<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの設置 パーゴラの設置 駐車場再整備の設計 		<ul style="list-style-type: none"> 健康遊具ゾーン改修 セントラルプラザウッドデッキ改修 親水広場フェンス設置 有料遊具ゾーンテント設置 幹線移設 		—	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 健康遊具ゾーンを利用状況にあわせ幼児用遊具ゾーンに改修するとともに有料遊具ゾーンにテントを設置することで、利用者のニーズを満たし利便性の向上を図ることができた。 老朽化したウッドデッキを改修するとともに親水広場にフェンスを設置することで、利用者の安全性の向上を図ることができた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 開園から10年以上経過し老朽化が進むとともに利用者のニーズも多様化しており、来園者を持続的に確保するために利用者のニーズにあわせた改修を順次進めていく必要がある。 							
C 事業コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
	成果指標	公園や緑地が充実していると思う市民の割合（％）	71.4	—	66.0	73.0	80.0		
	成果指標	東海3県主要集客施設集客順位（位） （三菱UFJリサーチ&コンサルティング調べ）	2	2	2	2	2		
他市との比較検証	<ul style="list-style-type: none"> 各務原市に国営木曾三川公園（国施設）がある（東海3県主要集客施設集客順位4位）。 豊田市に鞍ヶ池公園がある（—）。 亀山市に亀山サンシャインパーク（県施設）がある（—）。 								
V 事業コスト	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①	18,080	14,473	35,352	0	合計	35,351,640 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	35,351,640 円	
		一般財源	18,080	14,473	35,352	0			
	職員人件費 ②	3,517	2,714	3,086	0				
	総事業費（①+②）	21,597	17,187	38,438	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		洲原温水プール設備更新事業				担当部	都市政策部			
一般会計						担当課	公園緑地課			
款	項					目	担当係	業務係		
8	4					5				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	公園の整備・改善							
	目的	洲原温水プール設備の老朽化のため、設備を更新し、施設の充実を図る。		主たる内容	洲原温水プール及びロッジ施設の更新、予防保全を計画的に行う。					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> プール他2棟外壁改修工事 プール採暖室改修工事 プール入口横土間改修工事 		<ul style="list-style-type: none"> プールタイル改修工事 児童・幼児プール防水工事 プールロビー天井改修工事 プール稼動サッシシーリング打替工事 		<ul style="list-style-type: none"> プール貯水槽給水設備修繕 プールエントランス改修工事 プールギャラリー硝子取替工事 ロッジ屋上防水改修工事 台車購入 		<ul style="list-style-type: none"> 大プール循環自動弁修繕 更衣室空調機器設置工事 プールクリーナー購入 		
成果		・設備の改修を行ったことで、利用者の安全性が向上した。								
課題										
指標名称（単位）			実績値			目標値				
成果指標		プール利用者（人）	28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	31年度	3年度	
指標		64,177	60,753	70,990	75,000	75,000				
他市との比較検証										
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①		47,438	15,992	13,855	4,400	合計	13,855,320円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	885,600円		
		一般財源	47,438	15,992	13,855	4,400	工事請負費	12,889,800円		
	職員人件費②		1,172	1,551	1,736	1,742	備品購入費	79,920円		
	総事業費（①+②）		48,610	17,543	15,591	6,142				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名			フローラルガーデンよさみ補修事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					担当係	業務係	
8	4	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	公園の整備・改善						
	目的	民間活力を導入し、フローラルガーデンよさみの管理運営を一体的に行わせることにより、経費の節減と利用者へのサービスの向上を図る。			主たる内容	経年劣化した防犯カメラの設備補修を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者				事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		_____		・防犯カメラ設備補修工事		_____	
成果		・設備の補修を行ったことで、利用者の安全性が向上した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
活動指標		来場者数(人)			183,196	181,019	177,635	200,000	210,000
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	6,367	0	合計	6,366,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	6,366,600 円	
		一般財源	0	0	6,367	0			
	職員人件費 ②		0	0	3,086	0			
	総事業費（①+②）		0	0	9,453	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
		30年度までの累積事業費		0					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			街路樹街園管理事業				担当部	都市政策部	
款	項	目					担当課	公園緑地課	
8	4	3					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	緑地・緑道の整備						
	目的	街路樹、街園の維持管理を行い、都市景観の維持を図る。		主たる内容	街路樹、街園の清掃、除草、剪定、病害虫駆除等の管理業務を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		市内の街路樹、街園を5区域にわけ、維持管理を年間管理委託にて実施した。		市内の街路樹、街園を5区域にわけ、維持管理を年間管理委託にて実施した。		市内の街路樹、街園を5区域にわけ、維持管理を年間管理委託にて実施した。		市内の街路樹、街園を5区域にわけ、維持管理を年間管理委託にて実施予定。	
成果		・ 樹木剪定や草刈を行い、良好な街路樹管理を実施した。							
課題		・ 既存樹木の成長に伴い、剪定費用が増加傾向にある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合（％）			64.5	—	61.8	65.9	70.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		111,438	110,870	113,417	114,248	合計	113,417,057 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	4,239,928 円	
		一般財源	111,438	110,870	113,417	114,248	委託料	109,177,129 円	
	職員人件費 ②		3,282	3,257	2,855	2,864			
	総事業費（①+②）		114,720	114,127	116,272	117,112			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		街路樹街園補修事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	管理係	
8	4					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	緑地・緑道の整備						
	目的	街路樹、街園の樹木植替え等を行い、都市景観の維持と、快適な空間の形成を図る。		主たる内容	街路樹、街園の樹木の植替え補植を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		市道01-32号線他の街路樹等の補修		市道3-667号線他の街路樹等の補修		市道1-400号線他の街路樹等の補修		市道2-217号線他の街路樹等の補修	
成果		・枯損街路樹の補植や植替えを行い、良好な都市景観を維持した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合（％）			64.5	—	61.8	65.9	70.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,155	7,182	3,790	7,200	合計	3,789,720 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	3,789,720 円	
		一般財源	7,155	7,182	3,790	7,200			
	職員人件費 ②		1,719	1,706	1,543	1,935			
	総事業費（①+②）		8,874	8,888	5,333	9,135			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		街路樹整備事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	管理係	
8	4					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	緑地・緑道の整備						
	目的	大木化が進み、道路空間や沿道状況とのバランスが悪くなった街路樹や、根上がり等による事故の危険性がある街路樹の撤去・植替えを行い、良好な都市景観及び安全性の確保を図る。		主たる内容	遊歩道に植えられた、街路樹の植替えを行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
		根拠法令	道路法						
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		_____		市道7-8号線の街路樹植替		市道7-41号線他の街路樹植替		_____	
成果		・大木化が進み、道路空間や沿道状況とのバランスが悪くなった街路樹の植替えを行い、良好な都市景観及び安全確保に寄与した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合（％）			64.5	—	61.8	65.9	70.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	5,962	8,154	0	合計	8,154,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	8,154,000 円	
		一般財源	0	5,962	8,154	0			
	職員人件費 ②		0	1,706	1,543	0			
	総事業費（①+②）		0	7,668	9,697	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名		松くい虫防除事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	公園緑地課		
款	項					目	担当係	管理係	
8	4					6			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	自然環境の保全と再生						
	目的	昭和57年度より公益重要林（県指定）を設定し、松くい虫の防除を行い、松くい虫による被害の防止を図る。		主たる内容	県の松くい虫防除事業費補助金を活用し、刈谷市北部樹林地の被害松の伐採除去、健全な松への薬剤注入を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
		根拠法令	森林病虫害等防除法						
	対象者	市民		事業期間	昭和52年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・樹幹注入 アンプル数 407本		・樹幹注入 アンプル数 405本		・樹幹注入 アンプル数 308本		・樹幹注入 アンプル数 254本	
成果		・健全な松への薬剤注入を行い、被害拡大の防止に繋がった。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
成果指標		緑や自然を身近に感じることができると思う市民の割合（％）			64.5	—	61.8	68.7	70.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,928	1,596	1,439	1,400	合計	1,439,154 円	
	財源	特定財源	643	408	571	409	委託料	1,439,154 円	
		一般財源	1,285	1,188	868	991			
	職員人件費 ②		938	931	926	1,161			
	総事業費（①+②）		2,866	2,527	2,365	2,561			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		松くい虫防除事業費補助金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名			民有地緑化推進事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	公園緑地課	
款	項	目					担当係	業務係	
8	4	6							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	公園緑地・緑化						
		施策の内容	緑化の推進						
	目的	緑化推進基金の運用益を利用して民有地緑化の補助を行い、民有地緑化の推進を図る。		主たる内容	民有地で行う生垣設置及び屋上、壁面緑化に対する補助並びに指定樹木等への補助を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次緑の基本計画						
			根拠法令	刈谷市緑化推進補助金交付要綱、刈谷市樹木等保存要綱					
		対象者	市民、事業者	事業期間	平成21年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
		・生垣設置	0件	・生垣設置	1件	・生垣設置	1件	・生垣設置	4件
・屋上緑化		0件	・屋上緑化	0件	・屋上緑化	0件	・屋上緑化	1件	
・壁面緑化		0件	・壁面緑化	0件	・壁面緑化	0件	・壁面緑化	1件	
・指定樹木		1,164本	・指定樹木	1,185本	・指定樹木	1,184本	・指定樹木	1,280本	
・指定樹林	55,400㎡	・指定樹林	55,400㎡	・指定樹林	55,400㎡	・指定樹林	62,800㎡		
成果	・指定樹木、指定樹林を保存することができ、緑化の推進に一定の成果があった。								
課題	・民有地の緑化をさらに推進するために、補助事業のさらなる啓発活動に努める必要がある。								
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					28年度	29年度	30年度	31年度	3年度
	成果指標	自宅の敷地などの緑化に努めている市民の割合（％）			57.6	—	54.9	67.5	80.0
他市との比較検証	・岡崎市では、本市と同様に生垣設置及び屋上、壁面緑化に対して補助を実施しており、平成30年度は生垣設置2件という実績がある。 ・安城市の生垣設置に対する補助では、平成30年度で1件という実績がある。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費①	1,441	1,537	1,461	2,644	合計 1,461,000円			
	財源	特定財源	1,440	1,537	1,461	2,644	負担金、補助及び交付金 1,461,000円		
		一般財源	1	0	0	0			
	職員人件費②	1,954	1,163	1,350	1,355				
	総事業費（①+②）	3,395	2,700	2,811	3,999				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0		都市緑化基金助成金 都市緑化基金積立金利子 緑化推進基金繰入金					
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			緑化推進基金積立事業				担当部	都市政策部		
款	項	目					担当課	公園緑地課		
8	4	6					担当係	業務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	公園緑地・緑化							
		施策の内容	緑化の推進							
	目的	刈谷市緑化推進基金条例に基づき、余剰金等を緑化推進基金に繰り入れ、市内の緑化を図る。				主たる内容	緑化推進基金に余剰金等を編入し、その運用益により、各種緑化事業の推進を図る。			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令	刈谷市緑化推進基金条例第5条								
	対象者	市民			事業期間	平成19年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画		
運用収入及び基金の取崩し338,443円を事業費に充てた。		運用収入及び基金の取崩し1,007,320円を、事業費に充てた。		運用収入及び基金の取崩し893,620円を事業費に充てた。		運用収入及び基金の取崩しを事業費に充てる。				
成果		・基金を民有地緑化推進事業等に充て、市内の緑化に努めている。								
課題		・基金運用収入に加え、基金の取崩して事業費に充てており、事業の見直しを検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	0	1	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	1				
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費②		1,563	1,163	1,350	1,355				
	総事業費（①+②）		1,563	1,163	1,350	1,356				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称				
30年度までの累積事業費		0								
2年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			民生施設災害復旧事業				担当部	都市政策部	
款	項	目					担当課	公園緑地課	
11	1	1					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	防災						
		施策の内容	災害に強いまちづくり						
	目的	児童福祉施設（児童遊園）の災害復旧を行う。			主たる内容	災害復旧工事に関わる業務			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画	
成果		実績なし							
課題		実績なし							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳	
		事業費 ①		0	0	0	2,000	合計 0円	
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	0	0	0	2,000			
	職員人件費 ②		0	0	0	0			
	総事業費（①+②）		0	0	0	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称			
30年度までの累積事業費		0							
2年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			都市計画施設災害復旧事業				担当部	都市政策部			
款	項	目					担当課	公園緑地課			
11	3	3					担当係	管理係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	防災								
		施策の内容	災害に強いまちづくり								
	目的	都市計画施設（公園及び街路樹）の災害復旧を行う。			主たる内容	災害復旧工事に関わる業務					
	位置づけ										
	関連計画										
	根拠法令										
	対象者	市民			事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 実績 計画 実施 V	28年度実績		29年度実績		30年度実績		31年度計画			
_____		_____		_____		_____					
成果		平成21年度は13件の災害復旧工事を行い、復旧完了した。 平成22年度は1件の災害復旧工事を行い、復旧完了した。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				28年度	29年度	30年度	31年度	3年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（決算）	31年度（予算）	30年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	0	5,000	合計 0円				
	財源	特定財源	0	0	0	0					
		一般財源	0	0	0	5,000					
	職員人件費 ②		0	0	0	0					
	総事業費（①+②）		0	0	0	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		30年度特定財源名称					
30年度までの累積事業費		0									
2年度以降の事業費見込		0									